

決 算 報 告 書

第 3 期 事 業 年 度

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

国立大学法人東京学芸大学

平成18年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	8,873	8,844	△ 29	(注1)
施設整備費補助金	1,553	1,119	△ 434	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	24	63	39	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	40	40	(注4)
自己収入	3,687	3,779	92	
授業料、入学料及び検定料収入	3,616	3,686	70	(注5)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	71	92	21	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	252	570	318	(注7)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	114	201	87	
計	14,503	14,618	115	
支出				
業務費	9,824	9,692	△ 132	
教育研究経費	9,824	9,692	△ 132	(注8)
診療経費	—	—	—	
一般管理費	2,850	2,702	△ 148	(注9)
施設整備費	1,553	1,159	△ 394	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	24	63	39	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	252	450	198	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	14,503	14,068	△ 435	
収入-支出	0	550	550	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算額に平成17年度退職手当の繰越額を多額に計上したことにより、予算額に比して決算額が28,798,244円少額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、総合研究棟I改修（自然系）等の事業が翌年度に繰越となつたため、予算額に比して決算額が433,573,000円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金の預り補助金の受入れがあったことにより予算額に比して決算金額が39,763,972円多額となっています。

(注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算額を施設整備費補助金に計上したことにより、予算額に比して決算額が40,000,000円多額となっております。

(注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者等の増加のため予算額に比して決算金額が70,686,675円多額となっています。

(注6) 雜収入については、主として科学研究費等補助金の間接経費の受入れ等により、予算額に比して決算金額が21,774,887円多額となっています。

(注7) 予算段階では予定していなかった国、地方公共団体、民間等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して318,769,473円決算金額が多額となっています。

(注8) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算金額が131,264,757円少額となっています。

(注9) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算金額が147,259,539円少額となっています。

(注10) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算金額が393,573,000円少額となっています。

(注11) (注3) に示した理由等により、予算額に比して決算金額が39,763,972円多額となっています。

(注12) (注6) に示した理由等により、予算額に比して決算金額が198,272,983円多額となっています。